



総会で挨拶する山下武右会長

児玉源太郎顕彰会（山下武右会長）を設立して8年。9年目を迎

児玉源太郎顕彰会総会 次年度の10周年へ向けて



編集・発行
 児玉源太郎顕彰会
 〒745-0874
 山口県周南市公園区5854-41
 周南文化協会 内
 TEL. 0834-22-8190

印刷 (株) 精文社
 山口県周南市若宮町1-55
 TEL. 0834-21-1611

えて令和6年度総会を6月8日、周南市文化会館3階展示室で開催しました。いよいよ次年度は10年に差し掛かります。今年度はその準備の年でもあります。

総会には50人が出席、山下会長が「皆様のご支援、ご協力のおかげで順調に活動を展開しています。一昨年の児玉神社遷座百年記念事業では大変お世話になりました。遷座百年奉賛会を支えた顕彰会の存在は大きいものがあります。徳山駅前の再開発、中心市街地の活性化も進んでいて顕彰会の活動、役員活躍は心強いです。顕彰会として今後も街づくりに貢献していきたい」と挨拶しました。

議案は役員を選任、令和5年度事業報告と収支決算、令和6年度事業計画と収支予算の3議案で原案通り承認されました。役員は、理事の黒神直太さん（遠石八幡宮宮司・児玉神社宮司）を副会長に選任、幹事の野村俊文さん（徳山商工会議所青友会前会長）が退任、後任に吉田道さん（同青友会会長）を選任しました。その他の役員は再任です。設立以来、副会長を務められた小野英輔さん（徳山商工会議所元会頭）は退任されました。

事業報告は、会報「藤園」8号とニュースレター「本丁通信」13号、14号の発行、7月24日の「藤園忌」には児玉神社で命日祭、菩提寺の興元寺（金子清学住職）で墓前供養。「藤園忌」行事として俳句を募集、茶会を開催しました。会員は寄付金22人、役員・賛助会員95件・人、個人会員231人。総数で348件・人。前年より1割減でした。

事業計画では、会報「藤園」9号とニュースレター「本丁通信」15号、16号の発行、7月20日に「藤園忌」の茶会、24日に命日祭と墓前供養、6月から7月にかけて俳句募集。奥州市の後藤新平顕彰会、札幌市の新渡戸稲造と札幌夜学校を考える会、乃木希典を顕彰する

東京の乃木中央会との交流も継続します。児玉源太郎顕彰会の拠点作りを具体化、次年度に児玉神社社務所建て替えに伴い事務局を移転する予定です。児玉神社の黒神宮司から図面を添えて素案の説明がありました。詳細は次年度総会でお示しします。

総会のあと、周南公立大学客員教授の福屋利信さんの記念講演「ともに松陰に学び、松陰から離れた伊藤博文と離れなかった山県有朋」を開催しました。幕末から維新にかけて活躍した二人の生き方を事績とともに紹介、新しい視点でのお話は大変興味深いものでした。



講演される福屋利信さん

令和5年度収支決算と令和6年度収支予算は次頁に掲載していますのでご覧ください。

令和6年度 収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	前年度 決算額	備考
繰越金	728,449	1,434,775	令和5年度より
会費	2,800,000	2,641,000	個人会費 賛助会費 役員会費
寄付金	500,000	340,000	寄付金
雑収入	200,000	109,712	会報「藤園」販売 「藤園忌」茶会チケット DVD販売 利息等
合計	4,228,449	4,525,487	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	前年度 決算額	備考
会議費	50,000	8,460	会場費等
通信費	300,000	206,751	切手・葉書 郵送代
消耗品費	150,000	124,990	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,200,000	1,166,600	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	20,000	8,800	
書籍購入費	30,000	18,095	
渉外費	100,000	107,570	慶弔費
宣伝広告費	30,000	29,700	ホームページ
事業費	600,000	507,672	総会&講演会 「藤園忌」茶会&俳句 命日祭、墓前供養
負担金	25,000	25,000	諸会費
事務局費	1,600,000	1,552,956	賃金・賃料・光熱水費
手数料	50,000	40,444	郵便振替手数料
予備費	73,449	0	
合計	4,228,449	3,797,038	

令和5年度 収支決算書

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,434,775	1,434,775	令和4年度より
会費	2,500,000	2,641,000	個人会費 461,000 賛助会費 730,000 役員会費 1,450,000
寄付金	500,000	340,000	寄付金 340,000
雑収入	200,000	109,712	会報「藤園」・茶券 109,700 利息等 12
合計	4,634,775	4,525,487	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
会議費	50,000	8,460	会場費等
通信費	300,000	206,751	切手・葉書 郵送代
消耗品費	200,000	124,990	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,200,000	1,166,600	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	30,000	8,800	
書籍購入費	50,000	18,095	
渉外費	100,000	107,570	慶弔費
宣伝広告費	10,000	29,700	ホームページ
事業費	700,000	507,672	「藤園忌」命日祭・供養 33,662 「藤園忌」茶会 190,074 「藤園忌」俳句 257,016 総会&講演会等 26,920
負担金	30,000	25,000	諸会費
事務局費	1,500,000	1,552,956	賃金・賃料・光熱水費
手数料	50,000	40,444	郵便振替手数料
予備費	414,775	0	
合計	4,634,775	3,797,038	

(収入) 4,525,487 - (支出) 3,797,038 = (残高) 728,449

第 8 回 「藤園忌」

児玉神社で命日祭 興元寺で墓前供養

児玉源太郎顕彰会は「藤園忌」の 7 月 24 日、児玉神社（黒神直大宮司）で命日祭、菩提寺の興元寺（金子清学住職）で墓前供養を営みました。

児玉源太郎を祭神とする児玉神社は一昨年 10 月 23 日に遷座百年奉祝祭を済ませ、社殿も境内も一新。バリアフリー化されて空調も完備しました。黒神宮司の祝詞奏上に続いて、卜部博文副会長が玉串を捧げて参列者 15 人で遺徳を偲びま



児玉神社での命日祭

した。

神事のあと、黒神宮司は「世界各地で紛争が起きる中、平和を維持するのがいかに難しいか。先人の苦勞を思いながら日本が果たす役割を真剣に考えていかなければなりません。本日はありがとうございます」と挨拶されました。

興元寺の墓前供養は有志 10 人が参列、美しく掃き清められた児玉家墓所と児玉源太郎遺髪塔に花を手向けて焼香しました。



児玉源太郎遺髪塔を前に墓前供養

「藤園忌」茶会

涼やかな演出に感銘

の間の軸は淡々斎筆「一切声是仏声」。花は数珠玉草と黒ほうずきが添えられました。



涼やかに演出された藤園忌茶会

民謡「五木の子守唄」や昭和の歌謡曲「水色のワルツ」など懐かしい愛唱歌の演奏が会場の雰囲気盛り上げる中、軸や花、茶道具のお話を聴きながら主菓子と一服のお茶を味わいました。主菓子の銘は「おもかげ」。お茶をたしなむ人をはじめ、顕彰会の山下武右会長ら役員、松尾昇さんから会員も夏のひととき、涼やかな演出に感銘を受けながら寛いでおられました。

コロナ禍で 2 年中止された「藤園忌」茶会は一昨年、3 年ぶりに再開、今年も 7 月 20 日に周南市文化会館 3 階展示室で催しました。
箏や尺八の演奏を聴きながらお茶をいただく茶会は、児玉源太郎顕彰会の事務局を置く周南文化協会の茶道連盟（村田園会長）と邦楽連盟（澄田悦子会長）に積極的に関わっていただいて毎回好評です。



茶会の雰囲気を盛り上げる邦楽の演奏

今回は茶道連盟の裏千家淡交会 30 人と邦楽連盟の 5 人が担当してくださいました。気軽に茶に親しんでもらおうとテーブルとイスの立礼式で、200 人が参加。床

第8回「藤園忌俳句」

入賞作品決まる

児玉源太郎顕彰会は、7月24日の「藤園忌」にちなんだ俳句を6月から7月にかけて募集しました。

俳句は、児玉源太郎に関することと夏季雑詠。1人3句まで。102人から289句が寄せられました。無記名清記のうえ、選者の坪内稔典さん(俳人・市立伊丹ミュージアム名誉館長)と対馬康子さん(現代俳句協会副会長・「麦」会長)、久行保徳さん(俳誌「草炎」主宰)の三人が選考して特選3点、入選10点、佳作17点の計30点を決定。対馬さんは、宇多喜代子さん(現代俳句協会特別顧問)の退任に伴い、今回から選者にお迎えしました。

「藤園忌」は児玉源太郎が書などに晩年使っていた雅号。顕彰会を設立した翌年の平成29年から俳句や茶会などの「藤園忌」行事を始めました。源太郎は器量の大きな政治家、軍人として日本の近代化を推進した実力者で、ふるさとには私財を投じて明治36年私設図書館「児玉文庫」を作

第8回「藤園忌」俳句募集!

～児玉源太郎の道徳を偲んで～

日本近代化を推進した実力者、軍人、政治家として知られる児玉源太郎の顕彰を目的として、平成29年から「藤園忌」行事を始めました。今年からは「藤園忌」行事の一環として、俳句や茶会などの「藤園忌」行事を始めました。

今年「藤園忌」行事の一環として、俳句や茶会などの「藤園忌」行事を始めました。今年からは「藤園忌」行事の一環として、俳句や茶会などの「藤園忌」行事を始めました。

昨年(第7回)の特選句

児玉源太郎 プリフィール

児玉源太郎は1829年(徳和4)奥州赤松に生まれ、明治維新の戦いで戦死しました。1939年(昭和14)に没した。没後、1953年(昭和28)に「藤園忌」行事が始まりました。毎年、俳句や茶会などの「藤園忌」行事が行われます。

特選 3点

入選 10点

佳作 17点

共催 児玉源太郎顕彰会

協賛 周南市

実行 周南市文化センター

後援 周南市教育委員会

問い合わせ先 周南市文化センター 電話 0834-22-8190 FAX 0834-22-8191

児玉源太郎顕彰会

りました。文庫は戦災で焼失する昭和20年まで42年間にわたり、教育の向上に大きな役割を果たしました。現在の周南市立中央図書館の前身にあたり、平成31年3月の中央図書館リニューアルオープンの折、「児玉文庫メモリアル」の愛称が付けられました。

周南市内には児玉神社、菩提寺の興元寺、生家跡の産湯の井戸と生誕の地など源太郎をしのぶ史跡があります。

特選

入賞作品は次の通りです。

入選

藤園忌二十歳の髭を剃り残す
山口市 石森甘蕉子
なつやすみずかんをもつてとうさんと
周南市 高村淳之介

藤園忌海を叩けば凹みたり
周南市 佐伯 喜誠

本降りの沖より来たる藤園忌
下松市 橘 美泉

藤園忌斜めにかざす新紙幣
静岡市 いたまき芯

蒼天に付箋紙貼って藤園忌
三田市 新元みつよ

夏休み自主勉テーマ大将記
周南市 石田 京子

藤園忌けふも正々堂々と
四国中央市 星月彩也華

会長の児玉談議や夏深し
周南市 河村加南子

藤園忌昭和の家の子沢山
防府市 尾辻のぶほ

夢に見て死を確かむる百合の花
横浜市 山崎 垂

連れだつて児玉文庫の窓涼し
高槻市 松代 享子

佳作

片陰に産湯の井戸のしんとして
周南市 阿部 友子

もう戻ることのない道大夕焼
柳井市 片山 淳子
源太郎本で見つける夏休み
香芝市 里井貴美子
かつてみな少女少女雲の峰
周南市 木村たけま

平和とは普通の暮し藤園忌
周南市 山根 しづ

カンナ咲く児玉文庫の蔵書印
下関市 平川扶久美

夏休み児玉文庫のある自慢
周南市 石田レイ子

はち巻きを固く大将鰻裂く
宇部市 河村千代子

君もきみも故郷の未来藤園忌
周南市 林 しずか

道遙かドッペルゲンガー夏社
那珂市 白土 敏二

蝉時雨もらい乳して喜寿なりき
東京都 高田 美鈴

藤椅子の窪みに坐る源太郎
周南市 津森 敏伸

菩提寺にすつくと芽吹く大銀杏
周南市 山根 瀧子

書き出しは君のことから夜の秋
大阪市 平川 直子

藤園忌ビルの谷間に産湯の井
周南市 谷村 道子

未来こそ専門とせよ藤園忌
岩国市 新保 眞理

老鶯や児玉神社の梢より
周南市 中坪 光江

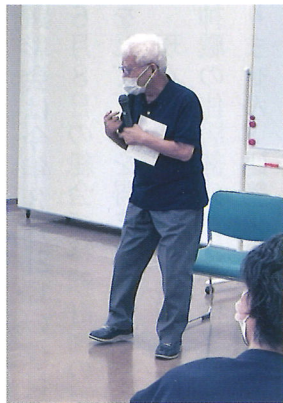




児玉源太郎顕彰会（山下武右会長）は第8回藤園忌俳句の表彰式と記念講演を9月16日（月・祝）午後2時から周南市文化会館3階展示室で開催しました。俳人で、選者の坪内稔典さん（市立伊丹ミュージアム名誉館長）と久行保徳さん（「草炎」主宰）のご臨席の下、受賞者30人のうち22人と顕彰会会員ら計50人が出席しました。

表彰式では、山下会長が初代会長の小川亮・元徳山市長の功績と顕彰会設立の経緯に触れて「藤園忌俳句が年々広がりをもせて質の高さを実感している。今回も県内外からたくさん応募があり、有り難く思います。このような活動を通じて児玉源太郎のことを広く知っていただけると嬉しいです」と挨拶しました。受賞者ひとり一人の句を披露しながら特選の戸川富士子さんから3人に賞状と賞金、入選の佐伯喜誠さんから7人に賞状と記念品、佳作の阿部友子さんから12人に賞状と記念品をお渡ししました。欠席者には後日郵送しました。

第6回で初入選した山下会長をはじめ、今回応募した顕彰会役員は全員落選。「年々レベルが上がって受賞するのはなかなか難しい」と皆さん、苦笑いです。俳句界を代表する選者をお迎えしているのも藤園忌俳句の魅力です。



講演される坪内稔典さん

「俳句のことば」を興味深く
入賞作品に触れながら

表彰式に続いて、坪内稔典さんの講演に移りました。演題は「俳句のことば」。5・7・5。定型の中に言葉を選んで俳句にします。非現実の世界。

5・7・5で会話してみましょうと坪内さんが「周南は空が広くてすてきだね」と振ると受賞者の戸川富士子さんが「そうだよね焼き芋食べて歩こうか」と返しまし

た。5・7・5のリズムを楽しんだあと、俳句の特色について季語、「や」「かな」の切れ字、「文語」「歴史的かなづかい」と「俗語（日常語）」などを受賞作に触れながら解説されました。

まず特選について。「海を向く夏帽一つ藤園忌」。夏帽と藤園忌の取り合わせ。この言葉が結びついて風景を作ります。季語は基本的に一つ。俳句がよければ一つでなくてもよい。「藤園忌二十歳の髭を剃り残す」。読者にいろんな想像をさせる一句。今は季語が変化する時代。これまでは田畑での農作業からくる季語が多かったですが、都市的な季語も増えていきます。季語は最初からあるのではなくて俳句が作られていく中で生まれてきます。

切れ字は便利。切れ字を使うことで俳句になっっているように感じます。「閑さや岩にしみ入る蟬の声」。松尾芭蕉の有名な句。「タンポポや：」としてもすぐ俳句になりそうです。切れ字は俳句特有の言葉。俳句は文語にて詠まれることが多い。入選の「藤園忌海を叩けば凹みたり」「本降りの沖より来たる藤園忌」「会長の児玉談議や夏深し」などがそうです。

選者の私も久行保徳さんも文語は使いません。特選の6歳の高村

淳之介君の「なつやすみずかんをもつてとうさんと」。すべて普通の言葉ですが、この一句から物語が動き始めます。最後を「と」で止めたのも余韻を残します。大人にない恐るべき言葉。10歳と70歳の人の言葉が通じ合うと素敵です。人は10歳までに70〜80%の言葉をも身につけると言います。

あまり使ったことのない言葉を意識的に使ってみてください。言葉を新しくすることが大切です。入選の「藤園忌斜めにかざす新紙幣」や「蒼天に付箋紙貼って藤園忌」などそれぞれの作品に触れながら新しい言葉を見つけて自分の俳句を作ってくださいと講演を締められました。



出席された受賞者の方々。
山下会長と選者の坪内、久行両先生を囲んで。



児玉神社社務所完成予想図

児玉神社社務所の一角に 児玉源太郎顕彰会事務局移転へ

児玉神社（黒神直大宮司）は、老朽化した社務所の建て替えを計画しています。令和7年度早々に取り壊し、7年度中に新築します。神職の住居を兼ねた社務所には新たに御守や御朱印帳などの授与所

を設け、参拝客への対応をします。周南文化協会に置いている児玉源太郎顕彰会（山下武右会長）事務局を社務所一角に移します。

今年度から設計協議に入り、児玉神社と児玉源太郎顕彰会が双方で具体的な内容を詰めています。顕彰会は今年3月21日の役員会、6月8日の総会で移転計画の説明をして了解を得ました。

現在の社務所は木造平屋建て、神職の住居部分だけで授与所はありません。建築後すでに40年を経過して老朽化しています。現在地に建て替える新しい社務所は木造2階建て、1階の北側に授与所と顕彰会事務局を設けます。参拝客や顕彰会来客へのおもてなし、少人数での会合も可能になります。令和7年度は顕彰会も設立して10年目に入ります。社務所の建て替えは児玉神社が行い、顕彰会が支援します。7年度の役員会と総会で詳細を説明して皆様方へのご理解とご協力をお願いすることにしています。

徳山の戦後を伝える

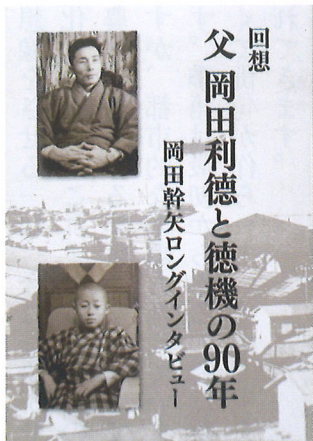
回想 『父岡田利徳と徳機の90年』 岡田幹矢ロングインタビュー

周南市港町の徳機株式会社は、岡田幹矢会長がインタビュアーに成る形で父岡田利徳氏と徳機90年の歴史を一冊の本にまとめました。岡田会長が83歳の誕生日を迎えた8月5日の発行で、非売品として関係者に届けられました。

積極的に進めました。

徳山機械は圧力容器の鏡板の製造で高い技術を誇る企業として発展、利徳氏が74年5月に交通事故のため65歳で逝去。75年に新南陽鉄工団地が起工すると順次、徳山駅南にあった工場を移転させて77年に幹矢氏が社長に就任、86年に徳機に社名変更しました。

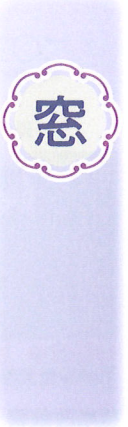
回想 父岡田利徳と徳機の90年 岡田幹矢ロングインタビュー



利徳氏は大津郡宇津賀村（現・長門市）で生まれ、北九州の八幡製鉄所に入り、終戦までの8年間は満州の関連会社で働きました。戦後は北九州でスクラップの小売商を始めましたが、1953年に周南市の徳山機械を買収して代表取締役に就任、周南市に拠点を移しました。73年には県内に映画館を展開する毎日興業の経営にも乗り出し、設備工事の会社、徳機工事を設立するなど事業の多角化を

2019年に『徳機株式会社創業85周年記念誌』を発行。これをもとに回想『父岡田利徳と徳機の90年』がまとめられました。幹矢氏ら5人の兄弟が社業を受け継いで発展させ、幹矢氏はシテイケール周南の代表取締役、徳山商工会議所会頭を務めるなど地域社会に貢献。14年には徳機創業80周年記念事業として岐山通三丁目の児玉源太郎生誕地を含む敷地を周南市に寄贈。翌年「生誕の地」として整備、開園しました。

これを機に16年、地元有志で「児玉源太郎顕彰会」を設立、積極的に顕彰活動を行っています。幹矢氏は設立以来、副会長を務めています。



第8回藤園忌俳句 受賞者から喜びの声

特選に6歳の幼稚園児の作品が輝きました。「なつやすみずかんをもってとうさんと」。徳山中央幼稚園に通う周南市大島の高村淳之介君。「草炎」同人の祖母、山根志づさんの勧めで応募しました。毎年入賞を重ねている山根さんも「子どもの作品があると幅が広がると思って勧めましたが、特選には驚きました」と。同席した淳之介君の母、瑠美さんも昨年は「子と覗くルーペと図鑑夏休み」で佳作に選ばれています。祖母、母、子の三代の受賞に話題が集中。地元新聞でも取り上げられました。

初めての応募で佳作に入った白土敏二さんは茨城県那珂市から車で来訪。礼服にドレスシャツ姿。会報『藤園』9号で紹介した「見玉源太郎のそっくりさん」です。「このたび拙句が選ばれたことでまたご縁がながったような気がします」と表彰式に招かれて一句。

佳作入り吾を呼び出す源太郎

「海を向く夏帽一つ藤園忌」で特選の戸川富士子さんは豊中市から表彰式に出席。「周南市の方々

藤園忌俳句 表彰式に参加して

戸川 富士子

児玉源太郎顕彰会の藤園忌俳句表彰式に参加させていただき、ありがとうございます。山下武右衛門さんのご挨拶は、郷土愛と藤園忌を通じた周南市の文化発展への熱い思いが伝わってきました。とくにご自身の投句経験談はユーモアたっぷり、お人柄も垣間見える、とても心地よいお話でした。会場に笑いが広がり、緊張していた私も一気にリラックスできました。

また、著名な坪内稔典先生の講演を間近で聴くことができ、大変勉強になりました。受賞をきっかけに明治の偉人、児玉源太郎について、藤園忌の俳句投句について多くの人に知ってもらいたいと思えました。周南市の発展を願い、その一員として貢献したいです。

昭和4年発行の 新撰『徳山案内』 児玉秀雄が祝辞

兼崎 人士

明治42年に創業し、今年で115年目を迎えた周南市新町の印刷屋さん。皆さん、ご存じの手彫りで有名な有吉文堂さんです。

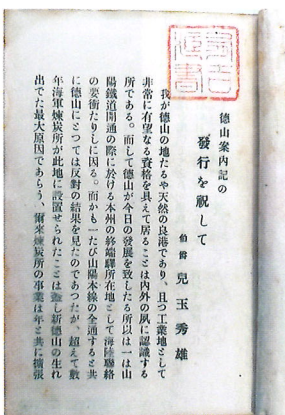


徳山案内

私は時々、文化・歴史に造詣が深い二代目店主・有吉民雄さんを訪ねてふるさと徳山の話をお聴きしています。その折、有吉家蔵書の中から『徳山案内』という冊子を見せていただきました。徳山の町を広く紹介する目的で昭和4年に発行。その巻頭を伯爵・児玉秀雄の祝辞と児玉源太郎閣下の写真が飾っています。ふるさとを愛する心が行間から読み取れます。大正から昭和初期にかけて徳山は山口県下屈指の商工業地として発展を遂げていましたが、新興都

市徳山を広く紹介する冊子があったため、都濃朝日新聞などで編集・発行業務を担当していた津永善輔と上杉久吉両氏によって編纂、発刊されたものです。徳山の歴史、自治、経済、教育、産業、政治、文化・文芸、娯楽などを写真とともに紹介。巻末に当時の企業や商店が掲載されて興味深いです。

児玉秀雄伯爵が寄せた祝辞とは。「我が徳山の地たるや天然の良港であり、且つ工業地として非常に有望なる資格を具えて居ることは内外の夙に認識する所である。(中略)津永、上杉両君によって徳山の実情を広く紹介すべく案内記発行の計画ありと、冀くは如上徳山の他に冠絶せる實際を闡明して之れが徹底に努められんことを蓋しらんか、一言以て祝辞に代ふ」。



児玉秀雄祝辞

まさに稀覯本。本書からも、当時の誇りは児玉源太郎と徳山海軍燃料廠であったことが分かります。(児玉源太郎顕彰会会員・光市在住)



長南政義著『二〇三高地』

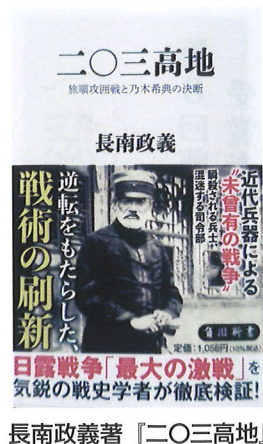
旅順攻囲戦と乃木希典の決断

福岡県在住の戦史学者、長南政義さんが『二〇三高地』―旅順攻囲戦と乃木希典の決断―(角川新書)を著しました。8月10日初版、角川書店発行。

日露戦争最大の激戦「旅順攻囲戦」。今年は120周年にあたり、9月8日からNHK総合でスペインヤルドラマ「坂の上の雲」が再放送されています。

本書は、これまで参照されなかった関係者の日記や電報などの記録を丹念に調べて、乃木希典と児玉源太郎、軍幹部は何を考へ、指揮をとったのか、当事者たちの私文書、公刊戦史の草稿、電報などから新たな事実を迫ります。

著者は5年前、多彩な才能を發揮する児玉の生涯を新資料を駆使して軍事学、戦史的視点で描いた

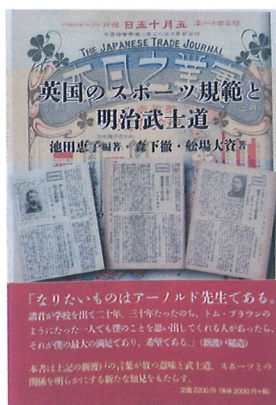


『児玉源太郎』(作品社)を出版、注目されました。

英国のスポーツ規範と明治武士道

山口大学教育学部教授で日本近世史を教える森下徹さん、同大学大学院東アジア研究科で学んで山口学芸大学准教授として体育・スポーツ史を教える船場大資さんによる共著として『英国のスポーツ規範と明治武士道』が一冊の本にまとめられました。2月28日初版、叢文社発行。

編著は山口大学教授を経て北海道大学大学院教育学研究科教授の池田恵子さん。英国スポーツ史が専門。新渡戸稲造の『武士道』がアメリカで英語出版されたのは1899年。その8年後に日本語版出版。森下さんが「夜明け前の武士」を論述したあと、船場さんが「明治武士道」規範と「文明の精神」、フィールドにみるスポーツ規範と「武士道」などを考察しています。スポーツ史と武士道の関係を明らかにする興味深い著書です。



『英国のスポーツ規範と明治武士道』

編集室より

東経135度と東経120度

川上 浩史

10月に入り、同じ時刻での夕暮れの色を実感するようになりました。私たちは、国立天文台が定める「中央標準時」に基づいて日々暮らしていますが、「中央」とある理由を調べると、かつて「西部標準時」があった名残だそうです。

明治29年から昭和12年まで、台湾などは日本本土と1時間の時差がありました。一時期は満州でも使われたようです。

そのため、児玉源太郎も台湾や満州にいた際には、本土より1時間遅い時計を目にしていたことでしょう。

(新南陽郷土史会事務局長)

「描かれた児玉源太郎」

松本久美子

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』を実写化したスペシャルドラマが、NHKで放送されているのにちなみ、周南市美術館の歴史展示室特設コーナーでは、現在「描かれた児玉源太郎」と題し、児玉源太郎のブロンズ像や錦絵などを展示しています。12月28日までです。

これまでの『藤園』表紙を飾った資



歴史展示室特設コーナー「描かれた児玉源太郎」

料もご覧いただくことができます。この機会にぜひご来館ください。

(周南市美術館学芸員)

人と社会をつないで

西崎 博史

児玉源太郎顕彰会と会員をつなぐ役割を果たしてきたニュースレター『本丁通信』。春と秋の年2回発行して今回で15号を重ねました。活動の内容を伝えながら本の紹介や会員の声をお届けしています。

積極的な活動があればこそ編集できません。活動をすれば次の活動を生み出し、波紋も広がります。いろんな分野で活躍する人たちが役員に、会員に加わって情報を共有、それぞれの場で活用して影響を与えます。人と社会をつないで好循環を繰り返してきました。

新たなことに挑戦し続けて9年。来年はいよいよ10年目に入ります。顕彰会事務局移転も節目の大きな事業です。力を合わせて頑張りましょう。

(児玉源太郎顕彰会事務局長)